



**Frederick William Beechey,**  
***Narrative of a voyage to the Pacific and Beering's Strait, to co-operate with the  
Polar expeditions : performed in His Majesty's ship Blossom, under the  
command of Captain F. W. Beechey, in the years 1825, 26, 27, 28, New ed.,  
London, 1831***

## フレデリック・ウィリアム・ビーチー『ブロッサム号の航海記』

著者フレデリック・ウィリアム・ビーチー (Frederick William Beechey) (1796-1856年) はイギリスの海軍士官、地理学者である。細密画家の母と王立芸術院会員であった画家の父との間に生まれた。10歳でイギリス海軍に入隊して軍務に服し、北極探検やアフリカ北岸への測量航海に参加した。1825年にブロッサム号艦長に任命され、英国王ジョージ4世の命で太平洋・ベーリング海峡の観測調査を行う。後年は王立地理協会の総裁を務めた。

本書は1825～1828年に及ぶ太平洋・ベーリング海峡航海記である。イギリスから南米ホーン岬を回って太平洋に抜け、北上してベーリング海峡へ。その後、越冬のためカリフォルニア州サンフランシスコ湾に入港。太平洋を横断して東南アジアと中国を經由し、琉球や小笠原諸島にも寄港した。再び北太平洋海域を航海した後、南米を迂回して帰路についている。

天候を形容する言葉の豊かさ、波や地形、集落など目に映る光景を克明に刻む観察眼、魚類や動植物の生命感ある表現が見事である。世界各地が今よりも隔絶していた時代の人々がどのように暮らし、言葉の通じない異文化同士の間がどのように出会い、交流をはかったか、本書は興味深い報告を残している。琉球と小笠原諸島に関する記述部分は、それぞれ『ブロッサム号来琉記』『小笠原諸島異国船来航記』(大熊良一訳著)に日本語訳が所収される。

当館所蔵資料は、イギリス海軍部が刊行した初版と同年に出版された2巻本の新版である。